

---

# オンライン質問コーナーで対面時よりも双方向性を確保

科目名：政治学入門

担当教員：施光恒 教授（比較社会文化研究院）

形式：オンデマンド+リアルタイム型

学年：基幹教育科目

人数：160人

ツール：Teams

評価方法：最終レポート、出席

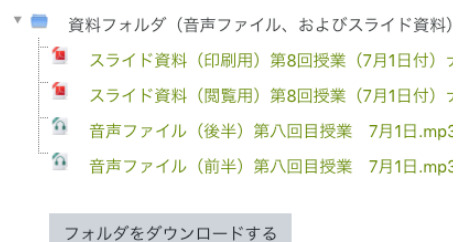
---

## Q1. この授業で取り入れられた工夫について、改めて具体的に教えてください

オンデマンド授業を配信する傍ら、時間割上の授業時間である毎週水曜日1限には、Teams上で、学生が自由に口頭やチャットで質問できる任意参加の時間を設けました。学生からの質問が途切れた際には、前週の授業アンケートを通じて寄せられた質問のなかからいくつか選んで回答しました。リラックスした雰囲気のなかで質問や回答のやり取りができたと思います。

また、学生の通信環境に配慮し、講義資料+音声ファイル（mp3）という形式にこだわり、学生がこれらをダウンロードすることでいつでもどこでも学習できるようにしました。

### 第8回 グローバル化の問題点（2）



Moodle に資料と音声ファイルをアップ

## Q2. 取り入れた結果、学生の反応はどうでしたか

学生からは、「質問コーナーが面白かった」「自分以外の人の質問も聞けてよかった」「高いモチベーションで学ぶことができた」といった声が聞かれ、取り入れて良かったと思っています。

## Q3. 取り入れるために必要な準備

質問コーナー当日は、特に事前に準備することはなく、時間になったら Teams を開いて開始するという形で進めました。このコーナーは任意参加のものなので、普段の授業にあるような、特定の内容を時間内に教えなければならないというプレッシャーがなく、リラックスして実施することができました。また、私自身もラジオのパーソナリティのような感覚で、毎週楽しく喋らせていただきました。

### ～インタビューー雑感～

オンデマンド授業では周りの学生の受講の様子がわからず、また、どうしても学習を先延ばしにしていまいがちだと思います。施先生の授業では、毎週質問コーナーを設けていたということで、学生が自分の学習スケジュールを作るのに非常に有用だったのではないかと思います。また、まさに学生もラジオ番組のリスナーのような感覚で、他の学生の質問およびそれに対しての先生の回答を聞いてなるほどと思うような、リラックスしながらも勉強になる有意義な水曜日の時間だったように思います。インタビュー時、オンライン授業を非常に楽しんでおられるような、施先生の表情が非常に印象的でした。

---